

# 2016 年度事業報告

特定非営利活動法人アサヒキャンプ

## I. 事業期間

2016年4月4日～2017年3月31日

## II. 事業の成果

2016年度、アサヒキャンプは21人のキャンプカウンセラー（61期2名、62期5名、63期2名、64期12名）と5人のキャンプディレクターで、3つの主催、1つの共催、6つの協力（派遣）キャンプを実施した。NPO会員の子弟を対象として昨年度から実施した「YAMA キャンプ」は2年目となり、6回の実施で延べ25名の参加者を集め、人数的には倍の規模となった。運営は59期の津村太郎（ブンブン）氏に加え60期勝原拓也（ドクトル）氏が担当し、木工クラフトやクッキングなど静的なプログラムや水遊び、ハイキング、ミニ運動会などのアクティブなプログラムを行なった。YAMA キャンプからくつきネイチャーキッズキャンプに移行していく子供も現れ、他のキャンプの参加者増の実績にもなり将来のカウンセラーへの成長が期待できる。

「ネイチャーキッズキャンプ」は、今年は忍びの里で修行するという世界観のもと、忍者の卵になって修行にいそしんだ。今年度よりアサヒのOBOGである21期西川日奈子（ケロリ）氏主催団体の西淀川子どもセンターから3人の中学生を招待した。「森の子キャンプ」は麻生里山センターと事前打ち合わせをより綿密に行ったことで、スムーズに運営でき成功裏に終了し、更に信頼を得ることができた。四条畷キャンプ場メインのナック主催キャンプへの協力も継続して行っている。「ファミリーキャンプ」は参加者総数77名（! ?）となり、またもや過去最高記録となった。

4月開始時点ではカウンセラー総勢9名と非常に厳しい状況であったが、新人説明会回数を増やす、他大学へのチラシ配布、ネット募集など募集活動に力を入れることが実を結び、64期生が大勢加入したこととOBOGの多大な協力により無事事故もなく終了することができた。

また助成金として丸紅基金を獲得することができたことは、来年度も健全な運営をしていく上で非常に喜ばしいことである。

## III. 事業の実施状況

### 1 特定非営利活動に係る事業

(1) (事業名) アサヒキャンプカウンセラーの要請

(内 容) 勉強会、研修（トレーニングキャンプなど）

(実施場所) 大阪府中央区 南星ビル9階会議室

滋賀県高島市 くつきの森自然研修センター

※勉強会は、月に1～2回

(事業の対象者) 所属する学生ボランティア（キャンプカウンセラー）14名

(2) (事業名) 森の子キャンプ「楽しめ！朽木の大自然！」

(内 容) 麻生里山センターの6回目の主催に協力。初日のプログラムは、草木染めと、薪割り、カレー作りを体験。朽木で栽培した藍を千切ることから始まり夢中になり時間を忘れた。初体験の薪割りに苦闘し、昨年に続きロケットストーブを使用してカレーはまたたくまに完成。おくどさんのご飯とともに夕食会でおいしく食べた。その後は恒例のキャンプファイヤーを楽しみ、その夜はテント泊をした。翌日は里山たんけん＆ゲーム大会、と盛りだくさんのキャンプを堪能した。

(実施場所) 滋賀県・くつきの森・やまね館

(実施日時) 7月30日～31日・1泊2日

(事業の対象者) 小学3年生～6年生 30人

(3) (事業名) **SORA サマーキャンプ**

(内 容) 〈サマーキャンプ A コース・C コース〉1日目は、森探検、カレー作り、キャンプファイヤー、テント泊。2日目は簡単クッキング、ウォーターワールド、クラフトづくり、終わりの会。

〈サマーキャンプチャレンジコース〉1日目は、テント設営、森探検、カレー作り、テント泊。2日目は簡単クッキング、秘密基地作り、ピザ作り、キャンプファイヤー、星空観察、3日目はパン作り、ウォーターワールド、流しそうめん、クラフトづくり、終わりの会。SORAのキャンプは今まで職員がPDにあたるのが常であったが、このキャンプはNACの学生リーダーが担当。グループリーダーも1年目が多くプログラム内容と共にチャレンジングなものであった。

(実施場所) 四條畷市立野外活動センター

(実施日時) 〈サマーキャンプ A・C〉 8月2日～3日 / 8月16日～17日

〈サマーキャンプチャレンジコース〉 8月22日～24日

(事業の対象者) 小学1年生～6年生・約190名

(4) (事業名) くつきネイチャーキッズキャンプ「ひろげよう みんなの輪 朽木の輪」

(内 容) ねらいは、「①朽木の新たな楽しみ方を知る ②仲間と共に困難を乗り越えることで達成感や喜びを味わう」ということで、キャンプ場を忍者の修行場に見立て忍術修行を行うという世界観の中で野外生活を送った。

マイクロバスにて大阪/京都より移動、キャンプ場にてお弁当後、自分たちの寝るテントを立てて早速夕食作り。初日にキャンプファイヤーをアース広場で行なった。斜め切りした竹トーチで独特の雰囲気演出。2日目は忍者井で朝食後、忍者の修行ハイキングで汗を流し昼食。川での魚つかみはリアルな触感を楽しんだ。自炊した炊き込みご飯とその魚を炭火で焼いて夕食会で大盛り上がり。ナイトハイクは夜の忍者修行で最終日は免許皆伝して、立派な忍者となった。充実して、楽しいキャンプであった。

今年も比較的重いアレルギー症状を持つOB子弟が1名参加した。食事は母親持参のものを温めて取る、という形式は昨年と同様。キャンパー本人/親御さんの決断・勇気もさることながら、親御さんからの聞き取りで自炊時や就寝時に必要な配慮を事前にカウンセラーたちが考え、実行することが常態化していることは大きな収穫であった。

(実施場所) 滋賀県・くつきの森・自然研修センター

(実施日時) 8月6日～8日・2泊3日

(事業の対象者) 小学3年生～中学3年生・10名(男8人、女2人)

(5) (事業名) 自閉症児キャンプ(のびのびキャンプ)「みんなちがって、みんないいー!!」

(内 容) 財団が運営する奈良県吉野町・吉野宮滝野外学校を利用。初日は自分で包んだホイル焼きを作り夕食後に花火。2日目はうどん作り、川遊び、キャンプファイヤーを行なった。今年は良い天気にも恵まれた。

(実施場所) 奈良県・吉野宮滝自然学校

(実施日時) 8月18日～20日・2泊3日

(事業の対象者) 小学3年生～中学3年生・9名(男8人、女1人)

(6) (事業名) 障害児・者ファミリー／クラブファミリーキャンプ

「We are アサヒキャンプファミリー」

(内 容) アサヒキャンプクラブと一般が 59 人、CD、カウンセラーを含めて 77 人という過去最高の参加者が集まった。子供たちが楽しみにしていた定番イワナつかみがうなぎ掴みに変更、素敵なお菓子デコレーションも楽しんだ。今回は朽木で行う 10 回目ということで“巨大”をテーマに巨大手巻き寿司、巨大トンペイ焼き、巨大プリン・ゼリーなどインパクトのあるメニューにした。その中でも一番のメインである巨大手巻き寿司は夕食会が始まる前にひとつのイベントとして、約 4m の巻き寿司を子供たちが巻いた。さらに、その巻き寿司を切ると具で 10 という数字になっているという感動を与えることができた。そして大人から子供まで一緒に楽しんだゆりの木広場での『アサヒオリンピック 10』。新しい競技も取り入れ増やし今年は反響が大きかった。最後に全員で輪になって手を繋いでテーマソングを歌ったことは、キャンパーにとっても現役にとっても一体感を肌で感じる瞬間になった。

(実施場所) 滋賀県・くつきの森・やまね館

(実施日時) 9 月 17 日～18 日・1 泊 2 日

(事業の対象者) アサヒキャンプクラブ・58 名

(7) (事業名) YAMA キャンプ

(内 容) 昨年度より NPO アサヒキャンプ会員の子弟を対象に、トレキャン/ワーキャンと並行して年間を通じて行えるキャンプを開催している。小規模ではあるが、野外活動やキャンプ、グループ活動の楽しさを経験し、健全な成長を育むとともにカウンセラーの後継者を育成することが目的。グループカウンセラーは OBOG が担当。時間にあまり追われることなく比較的ゆったりとしたプログラム進行の中で、子供たち、親御さんともに非常に好評で、OBOG の姉妹が新規会員となってその子弟に参加してもらえたことは、非常に嬉しい。5 歳以上を対象とするため 4 歳児は親御さん付きで参加してもらうことにした。来年度以降も、継続していきたいキャンプである。

(実施場所) 滋賀県・くつきの森・自然研修センター

(実施日時) 5 月 3 日～5 日・2 泊 3 日

6 月 11 日～12 日・1 泊 2 日

7 月 16 日～18 日・2 泊 3 日

7 月 23 日～24 日・1 泊 2 日

10 月 8 日～9 日・1 泊 2 日

11 月 19 日～20 日・1 泊 2 日

(事業の対象者) 5 歳～中学 3 年生・延べ 25 名

(8) (事業名) SORA ウィンターキャンプ

(内 容) (カウンセラー感想文より) 森探検、お菓子の家づくり、ゲーム大会、焚き火などのプログラムを一泊二日で行いました。冬の寒さの中で火の暖かさをより一層強く感じたり、広いお風呂や二段ベッドなど、夏には体験できない冬ならではの環境でキャンプを楽しみました。お菓子の家づくりや焚き火の火起こしなどグループで協力したりキャンパーが考えたり作り上げたりする過程で、カウ

セラーがキャンパーの意見をまとめることや、成功体験に導くためにサポートすることの難しさを改めて実感しました。今回はいつもよりキャンパーの人数が少ないこともあり、ひとりひとりのペースを大切に、のびのび過ごすことができました。

(実施場所) 四條畷市立野外活動センター

(実施日時) 12月24日～25日・1泊2日

(事業の対象者) 小学1年生～6年生・約50名

(9) (事業名) **SORA** スプリングキャンプ

(内 容) (カウンセラー感想文より) はるさがしハイキング、マップ作り、アウトドアクッキング、キャンプファイヤーなどのプログラムを行いました。子ども達はバインダーを片手に友達と協力しながらハイキングをしつつ春をたくさん見つけました。カウンセラーや St が気づけなかった春も子ども達はしっかり見つけて、私たちに教えてくれることもありました。そして、ハイキングで見つけた春を一つのマップにすることで、一人では発見できなかった春を共有することができたり、図鑑で調べることで新たな春を知ったりすることができたりしました。また、プログラムをこなす毎に子ども同士の距離が近づく様子が見られ、同じ物事を協力して成し遂げることの重要性を感じることもできました。今回は今年度の最後のキャンプということで、6年生が名残惜しそうにしていたのが印象的でした。これからも子ども達が楽しかった・また来たいと思えるようなキャンプをしていきたいと思いました。

(実施場所) 四條畷市立野外活動センター

(実施日時) 3月29日～30日・1泊2日

(事業の対象者) 小学1年生～6年生・約70名

#### IV. 社員総会の開催状況

(日 時) 2016年5月22日 12時30分～15時30分

(場 所) 大阪市北区中之島1丁目 朝日新聞大阪本社屋内「ラルゴ」

(会員総数) 85名

(出席者数) 50名 (うち委任状出席者23名)

(内 容) 第1号議案 2015年度事業報告・決算報告について

第2号議案 2016年度理事・監事の選任について

第3号議案 議事録署名人の選出について

[報告事項]

・2016年度事業計画・予算について

・2017年のアサヒキャンプ65周年親睦会について

#### V. 理事会その他の役員会の開催状況

○決算理事会

日時：2016年5月22日

場所：大阪市北区 朝日新聞社会議室

出席：11名 (内 委任状1名)

第1号議案 2015年度事業報告

第2号議案 役員改選について

第3号議案 総会について

第4号議案 議事録署名人の選出について

○理事会

日時：2016年10月22日

場所：大阪市北区 朝日新聞社会議室

出席：12名（内 委任状2名）

第1号議案 2016年度夏期事業報告、会計途中報告、10月15日現在会費状況

第2号議案 65周年アサヒキャンプクラブ親睦会に関して

第3号議案 議事録署名人の選出について

○理事検討会

日時：2017年1月15日

場所：大阪市北区 朝日新聞社会議室

出席：13名

第1号議案 2016年度決算見込み状況報告

第2号議案 今後のアサヒキャンプ事業計画と課題に関して

第3号議案 65周年アサヒキャンプクラブ親睦会の実施に関して

第4号議案 アサヒキャンブルネッサンスに関して

○予算理事会

日時：2017年3月12日

場所：大阪市中央区 南星ビル9階会議室

出席：13名（内 委任状4名）

第1号議案 2017年度予算案について

第2号議案 2017年度アサヒキャンプ事業計画と課題について

第3号議案 2017年度に行う65周年アサヒキャンプクラブ親睦会について

第4号議案 定款変更と認定NPO法人化について

第5号議案 2017年度～2018年度の理事・監事候補者の選任について

第6号議案 その他、議事録署名人について

## 2016年度(平成28年度・第11期)活動計算書

事業年度: 2016年4月1日 ~ 2017年3月31日 まで

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
正会員受取会費	850,000	
賛助会員受取会費	243,000	
特別賛助会員受取会費	100,000	1,193,000
2. 受取寄付金		
一般寄付金	144,027	
朽木特別募金	31,000	
ワークキャンプ寄付	36,320	
資産受贈益		
施設等受入評価益		211,347
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	850,000	
受取国庫補助金		850,000
4. 事業収益		
ファミリーキャンプ	380,400	
のびのびキャンプ	0	
YAMAキャンプ	51,400	
ネイチャーキッズキャンプ	162,000	
森の子キャンプ	94,700	
SORAキャンプ	93,760	
ワークキャンプ	223,450	
その他	0	1,005,710
5. その他収益		
受取利息	4	
雑収益	131,620	131,624
<b>経常収益計</b>		<b>3,391,681</b>
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給与手当		
福利厚生費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	3,360	
諸会費	9,230	
諸謝金	127,000	
旅費交通費	697,386	
消耗品費	110,374	
通信運搬費	8,455	
支払手数料	0	
会議費	2,460	
保険料	34,436	
施設利用料	506,530	
食料費	285,679	
被服費	123,496	
雑費	24,100	
招待補助金	54,000	
その他経費計	1,986,506	
<b>事業費計</b>		<b>1,986,506</b>
2. 管理費		
(1) 人件費		
給与手当		
人件費計	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	30,045	
諸会費	21,350	
諸謝金	30,000	
旅費交通費	41,496	
消耗品費	16,756	
通信運搬費	136,207	
支払手数料	2,920	
会議費	122,500	
保険料	8,300	
施設利用料	300	
雑費	71,991	
その他経費計	481,865	
<b>管理費計</b>		<b>481,865</b>
<b>経常費用計</b>		<b>2,468,371</b>
当期正味財産増減額		923,310
前期繰越正味財産額		1,509,041
次期繰越正味財産額		2,432,351

法人名： 特定非営利活動法人アサヒキャンブ

## 財産目録

2017年3月31日現在

(単位:円)

科 目 摘 要	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	0		
ゆうちょ銀行	1,052,079		
UFJ銀行	1,400,272		
流動資産合計		2,452,351	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,452,351
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受金	20,000		
流動負債合計		20,000	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			20,000
正味財産			2,432,351

法人名： 特定非営利活動法人アサヒキャンブ

## 貸借対照表

2017年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	2,452,351		
流動資産合計		2,452,351	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,452,351
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受金	20,000		
流動負債合計		20,000	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			20,000
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		1,509,041	
当期正味財産増減額		923,310	
正味財産合計			2,432,351
負債及び正味財産合計			2,452,351

経理伝票、帳簿、残高証明など照合し、相違ないことを証明します。

監事 大西 良和

監事 中村 茂高